

平成 16 年 9 月 3 日

各 位

会 社 名 s a n t e c 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鄭 台 鎬  
(コード番号：6777 大証ヘラクレス市場)  
問 合 せ 先 I R 室 長 白 井 宏  
TEL (0568) 79 - 3535

### 平成 17 年 3 月期中間期の業績予想に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 3 月期中間期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）の業績予想についてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 17 年 3 月期中間期の業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

##### (1) 連結

(百万円未満切り捨て、少数第一位未満を四捨五入)

|                    | 売 上 高 |      | 営 業 損 失 |   | 経 常 損 失 |   | 中 間 ( 当 期 ) 純 損 失 |   |
|--------------------|-------|------|---------|---|---------|---|-------------------|---|
|                    | 百万円   | %    | 百万円     | % | 百万円     | % | 百万円               | % |
| 17 年 3 月期中間期( 予想 ) | 740   | 4.7  | 531     | - | 535     | - | 546               | - |
| 16 年 3 月期中間期( 実績 ) | 707   | 12.4 | 746     | - | 805     | - | 754               | - |
| 16 年 3 月期通期( 実績 )  | 1,444 | 1.9  | 1,488   | - | 1,650   | - | 2,524             | - |

(注) 売上高、営業損失等におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

##### (2) 単体

(百万円未満切り捨て、少数第一位未満を四捨五入)

|                    | 売 上 高 |      | 営 業 損 失 |   | 経 常 損 失 |   | 中 間 ( 当 期 ) 純 損 失 |   |
|--------------------|-------|------|---------|---|---------|---|-------------------|---|
|                    | 百万円   | %    | 百万円     | % | 百万円     | % | 百万円               | % |
| 17 年 3 月期中間期( 予想 ) | 690   | 3.8  | 484     | - | 498     | - | 500               | - |
| 16 年 3 月期中間期( 実績 ) | 665   | 22.4 | 661     | - | 711     | - | 690               | - |
| 16 年 3 月期通期( 実績 )  | 1,375 | 7.9  | 1,338   | - | 1,485   | - | 2,433             | - |

(注) 売上高、営業損失等におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

(注) 当業績予想につきましては、現時点で得られた受注状況や生産状況の情報を中心として算定しておりますが、受注見込みを含んでいるとともに、顧客への納期についても現在の予定であります。これらは、すべて当該時点での予測に基づくものであり、不確定な要因を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、この資料に記載されている予想とは異なる場合があることをご承知いただきますようお願いいたします。

## 2. 業績予想の概要

当中間期の連結売上高の見通しは、前年度を上回る740百万円となる見込みです。光部品関連事業については、北米向け販売が大きく落ち込む見込みですが、国内向け販売が堅調に推移してきていることにより、前中間期とほぼ同水準になる見込みです。光測定器関連事業においては、メーカー、大学等の研究機関向け販売強化の効果が出てきており増加する見込みであります。

利益面では、原価低減および付加価値の高い製品の販売促進、ならびに減損会計早期適用に伴う減価償却負担の減少から、粗利段階では、黒字化する見込みですが、依然、人件費等の固定費の負担が大きく営業損失が531百万円、経常損失が535百万円となる見込みであります。また、中間純損失は、546百万円となる見込みであります。

### 【通期の業績見通しにつきまして】

通期の業績見通しにつきましては、依然として顧客の受注等が短納期・少数ロットで変動する可能性が高いため、現時点では公表を差し控えさせていただきます。当社といたしましては、今後の四半期開示の内容の充実に努めさせていただきますとともに、通期の業績見通しにつきましては、今年度の売上高がほぼ見通せる平成17年3月上旬を目途として公表させていただく予定です。

(ご参考) 当社の今後の業績発表等のスケジュール(現時点の予定であります)

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| (1) 平成17年3月期中間決算発表    | 平成16年11月上旬 |
| (2) 平成17年3月期第3四半期決算発表 | 平成17年2月上旬  |
| (3) 平成17年3月期通期業績見通し発表 | 平成17年3月上旬  |
| (4) 平成17年3月期通期決算発表    | 平成17年5月上旬  |

以 上

(注) 当業績予想につきましては、現時点で得られた受注状況や生産状況の情報を中心として算定しておりますが、受注見込みを含んでいるとともに、顧客への納期についても現在の予定であります。これらは、すべて当該時点での予測に基づくものであり、不確定な要因を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、この資料に記載されている予想とは異なる場合があることをご承知いただきますようお願いいたします。